



連合静岡 かべしんぶん



静岡市駿河区南町11-22
TEL (054) 283-0105
FAX (054) 288-0105
<http://www.rengo-shizuoka.jp>

一発行
日本労働組合総連合会
静岡県連合会
発行人 角山 雅典
編集人 西崎 秋芳
発行日 2025.05.01

暮らしのあれこれ、
ご相談は「ろうきん」へ。

マイホームの夢の実現に!
（ろうきん）



クルマやバイクの購入から
車検まで!
（ろうきん）



暮らしの
住まいの共済

火災共済・自然災害共済



カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車組合連合会

全労済から「こくみん共済 coop」へ

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済

メーデーの起源と意義を見つめ直そう!

●日本のメーデーのはじまり
1920年(大正9年)5月2日のことです。友愛会が中心となり上野公園に1万人の参加者を集め、日本における第1回メーデーの集会を行いました。当時はまだ労働組合が法的に認められておらず、参加するだけでも大変な覚悟が必要とする時代でした。それでも、働く者の力で権利を守らうとした先駆者たちがいたのです。



●メーデーの起源

世界のメーデーの歴史は更に30年ほど遡って、19世紀末のアメリカから始まりました。長時間労働と低賃金に苦しんでいた労働者が、「8時間は労働、8時間は休息、そして残り8時間は自由な時間のために」と要求し、1886年5月1日を期してストライキを呼びかけたのです。

このストライキは35万人が参加するまでに発展しましたが、シカゴのハイ・マーケット広場の集会は警官隊と衝突して死傷者を出す暴乱事件となりました。その結果、主導者が逮捕されて、4名が死刑に処せられるという痛ましい犠牲を払ったのです。

この事件をきっかけとして、世界の労働者は5月1日を「国際的な団結の日」と定め、1890年を第1回として、欧米をはじめオーストラリア、ラテンアメリカなどの各地で、メーデーの集会とデモを行いました。

●近年のメーデー

近年では、メーデーの意義の確認やスローガンの採択の式典を簡単に行い、残りの時間を様々な団体がブース出展やパフォーマンス、イベントを行って、組合員が家族で気軽に参加できる要素を取り入れて開催する地域も増えています。メーデーの役割は、労働組合の活動意義を確認とともに、組合員同士が交流すること。メーデーに参加することで、多くの労働者の仲間がいることを実感でき、また、他労組や他産別の活動動向を知るための良い機会になります。メーデーで得た知識や交流を、その後の組合活動につなげるキッカケにしましょう。

「2025連合静岡アクション」の取組み

第5弾

中小労働委員会 街頭行動

4月9日(水)、中小労働委員会では、静岡市葵区のスクランブル交差点にて、春闇アクションの主旨を広く一般の方々にもPRするとともに、中小企業における春闇が引き続き行われていることや、この春闇は中小企業の賃上げこそが大事であり、格差是正に向かう第一歩であることなどをアピールしました。

マイクによるPRに加えて、街を行き交う人々に、チラシが入ったティッシュとスポンジを配布しました。

みんなでつくろう!
賃上げがあたりまえの社会



2025年 静岡県社会保険労務士との 連絡協議会



3月18日(火)、静岡市葵区のホテルアソシア静岡にて、連合静岡と静岡県社会保険労務士会との連絡協議会を実施しました。

冒頭、連合静岡・角山会長、静岡県社会保険労務士会・高妻会長それぞれからの挨拶では「春季生活闘争における継続的な賃上げと、すべての働く者への波及」や「連合静岡と社労士会との連携の重要性」などについて言及し、相互の認識を共通にした上で協議に入りました。

今年は、連合本部より則松佳子副事務局長をお招きし「ビジネスと人権に関する学習会」と題した講義をいただき、現在の連合における取り組みについて紹介をいただきました。社労士会においても人権に関する議論に精通している方が多数おり、意見交換会では活発に意見が取り交わされました。

また、連合静岡・社労士会、双方からの活動報告が行われ、連合静岡からは労働相談に関する実態を報告しました。

毎年行われるこの連絡協議会では、その時その時の時勢に則した議題を中心に協議が行われ、今年も大変有意義な意見交換の場となりました。

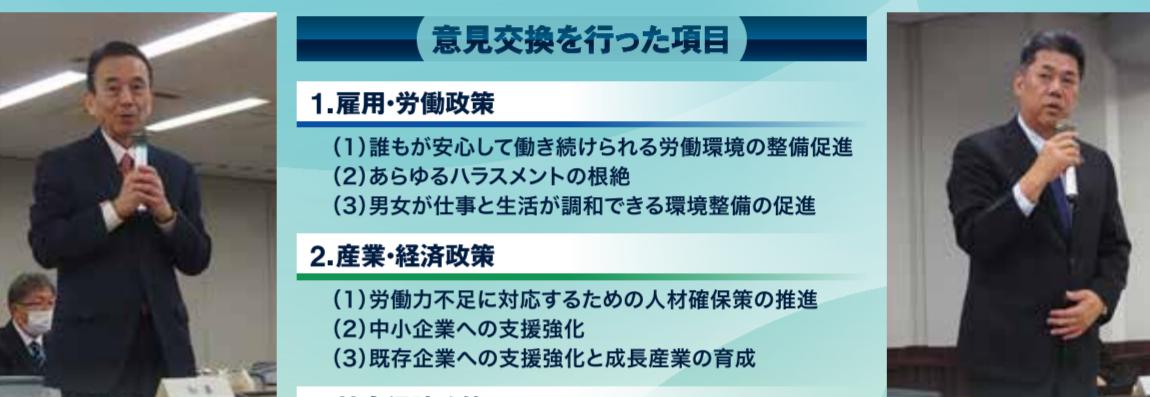


政策委員会 2024年度政策制度要請 (静岡県)に対する回答説明会 開催報告

政策委員会では、働くことを軸とする安心社会の実現のため、毎年静岡県に対し、雇用の安定や産業の振興、社会保障の充実といった労働者政策を中心にお請活動を行っています。

2024年度については、昨年9月4日に鈴木知事に直接要請し、その回答説明会が3月25日(火)に静岡県庁にて開催されました。

当日は、鈴木知事より25年度予算の概要説明を受け、その後、要請した項目に対して関係課長から県の対応方針や予算額について説明がありました。政策委員から寄せられた意見や質問を中心に活発な意見交換が行われました。



意見交換を行った項目

1.雇用・労働政策

- (1)誰もが安心して働き続けられる労働環境の整備促進
- (2)あらゆるハラストントの根絶
- (3)男女が仕事と生活が調和できる環境整備の促進

2.産業・経済政策

- (1)労働力不足に対応するための人材確保策の推進
- (2)中小企業への支援強化
- (3)既存企業への支援強化と成長産業の育成

3.社会保障政策

- (1)福祉・保育現場の人材確保策の強化
- (2)地域医療の確保【新規】
- (3)子ども・子育て支援制度の着実な実施

4.その他

- (1)総合的な防災・減災対策の推進
- (2)地域公共交通確保のための取組強化
- (3)人権擁護と差別の禁止【新規】



相談ダイヤル
暮らし
なんでも相談
東部 055-922-3715
中部 054-273-3715
西部 053-461-3715
中東遠 0538-33-3715
しだいばら 054-646-6055
岳南 0545-51-3715
ライフサポートセンターしづおか
<https://www.lsc-shizuoka.com>

+ 連合静岡 + 安全衛生推進活動の取組み

~ 甘く見ないで、熱中症! ~
環境省・熱中症警戒アラートを利用しよう!



環境省では、熱中症予防情報サイトを開設しています。毎年4月下旬よりLINE公式アカウントを用いて「熱中症警戒アラート・暑さ指数」の配信を行っていますので、利用してみてはいかがでしょうか。職場でもみんなで声掛けをして、職場で発生する熱中症を予防していましょう。

連合静岡 安全衛生推進委員会では、毎月安全衛生にかかる意識啓発を行ってまいります。

5月の活動予定

5/21(水) 第283回三役会議・第390回執行委員会

5/22(木)~23(金) 政策委員会県外視察研修

5/24(土) 2025「みらいアカデミー」Phase2

5/30(金) 第90回地協事務局会議

★編集後記★

わたし、好き嫌いがなく、食べ物は何でも好きなんですが、「辛いもの」だけものすごく苦手なんです。とくに唐辛子に代表されるような「カブサイシン」系が。ほんの少しでも口にすると、全身から汗が吹き出し、口の中が燃えるように熱くなります。お土産でももらった「大人限定 別府地獄カレー」のお菓子。ありがた迷惑です……でも辛いもの好きの方にはとても美味しいらしいです。わたしは食べ物もコメントも辛口は苦手です……。(しーちー)



『はたらく現場の声を国政に届けます!』 第27回参議院議員通常選挙構成組織別立候補予定者紹介

静岡県選挙区 立候補予定者



静岡で働く人のための資料閲覧サイト
Worker's Library
[ワーカーズライブラリー]

RENGO ONLINE

調べてみよう!
私の給料どのくらい?

連合静岡と
facebookで
つながろう!!